

課題懸案事項

- ・申請者は、市が考える現状の課題懸案事項を踏まえ、「様式 2 事業計画書」において改善策等を可能な範囲で提案すること

施設名	豊田市自然観察の森	所管課	環境政策課
-----	-----------	-----	-------

○申請者に提案等を期待する案件

区分	課題懸案事項
自然環境管理	施設整備以降、自然観察の森区域では植生の管理がほとんど行われておらず、里山環境の荒廃が進んでいる。多様な動植物が生息生育する里山環境を保全し、環境学習に活用すると同時に、市民が気持ちよく利用できるような環境整備が必要である。
施設の活用	施設の劣化により閉鎖しているネイチャーセンター屋上について、令和 5 年度に改修を行い、令和 6 年度から一般利用を再開する。今後、屋上デッキ及び屋上緑化の有効活用と適正管理が必要である。
施設の利用促進	施設の利用促進のため、都市近郊の貴重な自然環境の保全を図りつつも、子どもたちをはじめとする幅広い世代の市民が気軽に訪れ、自然と触れあうことができる施設として運用していく必要がある。

○その他施設設置者である市の課題案件（提案不要）

区分	課題懸案事項
豪雨対策	ネイチャーセンターでは、令和 2 年度に床上浸水被害が発生している。日常点検に加え、強い降雨が想定される場合には、排水経路の点検及び浸水対策が必要である。
自然観察の森用地	豊田市自然観察の森では、市有地のほか、自然観察の森及び周辺地域用地として、約 1,100 筆の土地を賃貸借しており、賃貸借地の適切な管理が必要である。また、エリア内には未契約地も散在しており、事業の実施において注意が必要である。
獣害対策	イノシシ、ニホンジカ等が増加しており、遊歩道等の掘り返し被害のほか、市民からは隣接する農地の被害や車道への飛び出しに対する苦情がよせられており、今後の生息拡大を見据えて対策を検討していく必要がある。